# 12月議会 私の一般質問

政府の政策である「学校給食費無償化」にどう取り組むか質問しました。

(問)　新聞報道によれば、学校給食費無償化が政府の方針として実施される見通しである。

内容は令和８年４月より小学校から実施、支援金額は一人当たり月額４，７００円（最終的に５，２００円）、不足分は保護者から徴収も可能とされている。そもそも憲法で義務教育は無償と定められており、学校給食は教育の一環であるため、無償にすべきである。物価高騰がさらに進む見通しの中、子育て支援のためにも給食費無償化は実施されるべきだ。無償化を求める多くの人の行動が国を動かした成果と評価したい。久万高原町は学校給食費無償化にどう取り組まれるか。

また、一方で近年、農薬による子ども達の脳や体への悪影響が不安視されている。農薬を使わない野菜を学校給食に取り入れる動きが起こっている。久万高原町でも取り組むべきではないか。

(答　河野町長)

本町は給食費の無償化は行なっていない。限られた財源の中で子育て支援全体の充実を優先的に考えているからだ。食材費についても物価高騰分は町が負担し、準要保護家庭には全額を、特別支援教育対象者は半額を補助している。今回、政府から正式な通知はなく、町の具体的な対応は決まっていない。出されれば趣旨を踏まえ学校給食費無償化を含む子育て支援充実のため検討していく。　次に農薬の懸念があるようだが、本町は栄養価のあるおいしい給食を提供している。地産地消の割合は高いとは言えないが、今後とも努力をする。

(問)　私の試算では、一年間の給食の回数は１８５回、久万給食センターは１食２４０円。
児童一人分の年間給食費は４４，４００円となり、国からの無償化補助金は４，７００円の十一ヶ月で５１，７００円になると思うので、保護者の負担は発生しない。美川給食センターの場合も計算すると、一人あたり年間給食費は５０，８７５円となり、国からの補助金で足りることになる。

食材高騰分の町からの補助は続けると聞いているので、それを引いて考えると給食費無償化は可能だと考えるがどう思われるか。

(答　河野町長)

国からの説明がないので答弁は控える。

(問)　近年、子ども達のなかにアトピー性皮膚炎や、食物アレルギー、発達障害児が異常な増え方をしている。農薬が原因ではないかと言われている。全国的に農薬を使わない有機野菜を給食に使う学校も増えている。農林水産省も「みどりの食料システム戦略」で２０５０年までに有機野菜の栽培面積を２５％までにする方針を出している。

町内でも有機栽培に取り組む若い農家さんが出てきている。限定的でも有機野菜を取り入れることは出来ないか。

(答　教育委員会事務局長)

農薬による子どもへの影響、有機野菜の大切さなど承知している。本町の給食センターはできるだけ地元野菜を使い、減農薬のものを使う努力をしている。有機野菜を給食に取り入れるにはクリアすべき課題がある。調査研究を進めていきたい。

(問)　有機野菜の作り手からはどんな野菜がどれほど必要なのか公表してほしいとの声を聞く。
若い農家を育て、地産地消を進めるために必要なことだと思うがどう思われるか。

(答　教育委員会事務局長)

地産地消の推進と学校給食への農業連携は重要課題だ。変形した野菜、規格外も安全面、栄養面に問題なければ取り入れたい。町の食育推進部と調整し進めたい。

## お知らせ

１月２０日、久万高原町役場より、令和８年度４月から小中学校の学校給食費無償の方向性が示されました。ただし、幼稚園とこども園は今のところ令和８年度のみの実施とのこと。久万高原町の英断を嬉しく思います。

## おわりに



昨年の１２月２日、「すべての健康保険証は廃止になり、マイナ保険証に移行することになった」と報道されましたね。しかし、マイナンバーカードを持つのは任意です。ましてやマイナ保険証に切り替えるのも自由です。マイナ保険証の手続きをしていない人には資格確認書が送られて来ます。資格確認書で今まで通り医療が受けられますよ。